

一番大切なのは何か

荒川区立第一日暮里小学校 五年 高橋 粹

「今、一番大切なのは何か」私は、ヤクーバとライオンを読んでこのように感じました。この本の著者「柳田邦男」さんは、以前、私の学校（荒川区立第一日暮里小学校）に来ていただいた事がありましたね。あの時はとても楽しく、「この方が書いた本を読みたい」と心から思いました。そして、出会った本が「ヤクーバとライオンⅠ 信頼 Ⅱ 勇気」です。

私は、信頼と勇気という二つは友達同士には欠かせないものだと思います。相手を信じ、お互いに勇気をもらい合う、それが本当の友達だと思います。でも、そのように考えると、友達はたくさんいても本当の友達は限られてくると思います。

ヤクーバとライオンは人間と動物ですが、お互いに「心」を持ち合い、相手を信じ、勇気を持っているすてきな仲だと思えます。

又、言葉は通じないけれど「心」や「目」などでお互いをわかり合えるなんてすごいと思います。

時に戦っても「自分が勝とうとは思っていない。」「相手を助けたい。」という気持ちを持って戦えるなんて素晴らしいと思います。私の周りにはそんな友達がいるのでしょうか。たとえば、いつかは別れてしまっても、一瞬だけでも、そう思い合える仲間がいるという事は、とても幸せな事だと思います。

このように私は「ヤクーバとライオン」を読んで「友情」について深く考えました。よく考えてみると「本当の友達」は2〜3人ぐらい

浮かんで来ました。しかし、世の中には「本当の友達」が1人もいない人もいます。だから「本当の友達」が1人でもいる人ほとても幸せなんだと思います。

これからも「柳田邦男」さんには、人の心を動かす、すてきな作品を書いていってほしいと思います。よろしくお願いします。